

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	安八町立登龍中学校		
実 施 期 間	平成26年10月18日(土)～平成26年12月5日(金)		
実 施 概 要	オープンスクール(終日学校公開) ① P T A講演会(岐阜経済大学教授の講話) ② 地域のお祭りボランティア ③ 文化祭(合唱披露:地域・保護者に向けての成果発表) ④ あったかい言葉かけ運動		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他  公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約280人	計 約680人
	地域関係者	約400人	
実 施 状 況	① 終日学校公開をし、保護者や祖父母、地域住民等、多くの方に来校していただいた。延べ約200人が参観した。 ② 岐阜経済大学教授(サッカー指導者)を招き、一流のスポーツマンに共通する心について話を聞いた。P T A主催の講演会だが、全校生徒も参加し、親子で話を聴く機会とした。 ③ 地域で行われた町のフェスティバルに、清掃ボランティアとして多くの生徒が参加した。1時間ほど会場を回り、ゴミを拾いながら、地域の方々 と触れ合った。 ④ 本校の伝統となっている「第九合唱」を今年も行った。今年で17回目となり、質の向上を目指して練習に励んだ。ロコミで参観者は毎年増えてきているが、今年はさらに通信や広報、新聞等を活用し、安八町以外の地域の方々にも文化祭の参観を広く求めた。 ⑤ 「人権週間」にあわせ、全校生徒が「あったかい言葉かけ運動」の作文に取り組んだ。生徒の声を学級、学年、全校に広めると共に、学校通信で保護者や地域の方々にも広めた。		
成果及び課題	① 授業だけではなく掃除や給食、休み時間の様子も参観することで、「生徒の日頃の様子がよく分かった」「家庭での話題が増えた」「今後も定期的に行ってほしい」等、学校公開を歓迎する意見が多く聞かれた。 ② 「自分を磨く」とはどういうことか、スポーツマンの生き方から学んだ。保護者と一緒に話を聞いたことで、家庭での共通の話題ができ、部活動や進路選択、集団生活等、今後の生活について親子で話し合う家庭が多くあった。 ③ 清掃ボランティアに参加する生徒に、多くの地域の方々が声をかけ、励ましてくださった。そのような触れあいを通して、ふるさと安八の一人としての自覚と強い責任感が育っていく。 ④ 「過去最高の文化祭を自分たちの手で」という気持ちを持ち、限られた時間の中でより質の高い合唱を求める生徒の姿があった。当日は観客も生徒もともに感動を味わうステージとなった。「毎年聴きたい」「来年も聴きにきたい」という地域の方々の声が、生徒たちの支えとなっている。これまで伝統を築きつないでくださった方々への感謝の気持ちをもつとともに、伝統の重みをあらためて感じる日となった。「第九合唱」は登龍中学校だけの伝統ではなく、地域の伝統、町の誇りとなっている。 ⑤ 全校人権集会前に全校アンケートを行い、互いを傷つける言葉や誰かを勇気づける言葉などの経験を把握し、言葉の使い方や仲間との関わり方を考える機会とした。また、全校生徒があったかい言葉かけ運動の作文に取り組み、昼の放送で全校生徒に紹介したり、学校通信で家庭や地域に話題を広めたりした。思いやりあふれる学級、学校、地域にしていきたいという思いがより大きく育った。		